

## 高速道路での交通死亡事故急増中 ～交通ルールを守った安全運転のお願い～

NEXCO中日本（中日本高速道路株式会社、本社名古屋市中区、代表取締役会長兼社長CEO・金子剛一<sup>かねこたけかず</sup>）が管理する高速道路では、10月に入り交通死亡事故が急増しています。高速道路での交通死亡事故削減に向けて、各種情報提供機器による広報や『高速道路マナーガイド』の配布など、交通安全啓発活動によりお客さまに安全運転をお願いするとともに、NEXCO中日本としても今後交通安全対策工を強化していきますので、お知らせします。

### 1. 死亡事故急増に対するお客さまへの交通安全啓発の取り組み

#### (1) 情報提供機器による啓発活動

##### 1) 実施概要

##### ①道路情報板

(提供例)

死亡事故急増！全席シートベルト着用

##### ②ハイウェイラジオ（1620KHz）

(提供例)

「高速道路での交通死亡事故が急増しています。高速道路では全席シートベルトの着用をお願いします。」

##### ③ハイウェイテレホン（携帯電話から「#8162[はーい、無事（帰る）]」）

(提供例)

「高速道路での交通死亡事故が急増しています。高速道路では全席シートベルトの着用をお願いします。」

##### ④目で見るハイウェイテレホン（携帯）

- ・関東・甲信越地域の高速道路情報

<http://www.yokohama1620-c-nexco.jp/main/index.shtml/>

- ・東海及び北陸地域の高速道路情報

<http://highway-telephone.com/>

(提供例)

交通死亡事故が急増！全席シートベルト着用



##### ⑤アイハイウェイ中日本（携帯）

<http://c-ihighway.jp/>

(提供例)

交通死亡事故が急増！全席シートベルト着用



2) 実施期間 2011年10月22日（土）から11月6日（日）の16日間

(2) 『高速道路マナーガイド』の配布による啓発活動

- 1) 配布開始時期 2011年10月下旬
- 2) 配布場所と配布先

当社管内の各サービスエリア・パーキングエリアの休憩施設で、お客さまが直接手にできるように備え付けるとともに、各種イベント開催時などに配布し啓発していきます。



2. 交通安全対策工の推進

事故の原因を分析し、今後安全対策工を強化していきます。

【対策工例】

- 夜間や雨天時などの視界不良時に視界を補助する、①自発光視線誘導標（電気により反射体が自ら光る）や、②高輝度路面標示（凹凸により雨天時等に視認性が良く、ライン上を車が通過すると振動により運転者に危険を伝える）を施工します。
- スピード超過しないよう、③導流路面標示（幅員を狭く見せ速度感を伝える）や④薄層舗装（舗装面に注意喚起のため薄い舗装をすること）を施工します。
- カーブ方向を認識して危険を察知していただく、⑤矢羽板（矢印の方向でカーブをお知らせする）を施工します。
- お客さまに危険回避の情報提供を行う、⑥LED板（文字や絵を標示）を設置します。



①自発光視線誘導標



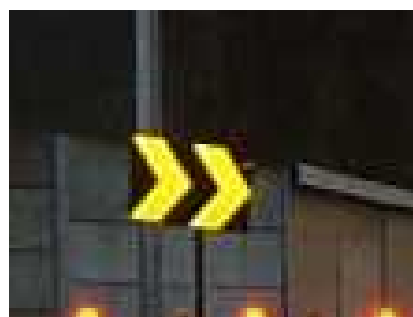
②高輝度路面標示



③導流路面標示



④薄層舗装



⑤矢羽板



⑥LED板